弘前圏域８市町村国土強靱化地域計画

令和３年３月

弘前市・黒石市・平川市・西目屋村・藤崎町・大鰐町・田舎館村・板柳町

弘前圏域８市町村国土強靱化地域計画

【目次】

第１章　計画策定の趣旨・位置付け

１．計画策定の趣旨

２．計画の位置付け

３．計画期間

第２章　基本的な考え方

１．基本目標

２．事前に備えるべき目標

３．基本的な方針

第３章　想定するリスク

１．弘前圏域８市町村の地域特性

２．対象とする自然災害

３．起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）

第４章　脆弱性評価

１．脆弱性評価の考え方

２．脆弱性評価の実施手順

第５章　脆弱性評価結果に基づく対応方策

１．対応方策とりまとめの考え方

２．起きてはならない最悪の事態ごとの対応方策

３．施策の重点化

第６章　計画の推進

１．計画の推進

２．計画の進捗管理

３．他の計画等の見直し

【資料１　計画策定までの経過・策定体制】

【起きてはならない最悪の事態ごとの対応方策】（目次）及び（概要）

別冊

【起きてはならない最悪の事態ごとの対応方策】（全文）

【主な事業】

【主な事業（付表）】

第１章　計画策定の趣旨・位置付け

１．計画策定の趣旨

○　東日本大震災の教訓を踏まえ、事前防災・減災と迅速な復旧・復興に資する施策を総合的、計画的に実施することを目的として、平成 25 年 12 月に「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法（以下「基本法」という。）」が制定された。

　政府においては、基本法に基づき、平成 26 年６月に国土強靱化に係る他の計画の指針となる「国土強靱化基本計画（以下「基本計画」という。）」を、青森県においても、平成２９年３月に「青森県国土強靭化地域計画　～ 命と暮らしを守る青森県へ ～」を策定し、今後の大規模自然災害に備え、強靱な国土づくりに向けた施策を推進している。

○　弘前圏域８市町村においては、古くから仕事や学校、買い物、医療など、１つの生活圏を形成しているものの、防災計画等については、各市町村で作成し、災害対応などに当たってきたところである。しかしながら、想定されるリスクについては、地震はもとより、岩木山噴火や、岩木川水系の氾濫、気候変動によるこれまで経験のない大雨・豪雪などは市町村を隔てることなく広域に発生するため、事前防災の観点から、広域での検討が必要不可欠となってきた。

○　こうした状況を踏まえ、住民の命を守ることを最優先に、大規模自然災害が発生しても、機能不全に陥らない、迅速な復旧・復興が可能な、強靱な地域づくりを連携して推進するため、リスクを共有する圏域市町村合同での「弘前圏域８市町村国土強靭化地域計画」を策定する。

２．計画の位置付け

○　本計画は、基本法に基づく計画であり、各市町村における「総合計画」等の計画について、国土強靱化に係る事項を補完するとともに、各市町村間で情報共有し、その着実な推進を図るための指針となるものである。

○　基本法では、国土強靱化地域計画は国の基本計画との調和が保たれたものでなければならないとされており、本計画の目標等については、基本計画を踏まえて設定した。

○　また、県の地域計画との調和を保つため、本計画の目標等については、青森県国土強靭化地域計画も踏まえて設定した。

３．計画期間

○　社会経済情勢等の変化に対応し、計画の実効性を確保する観点から、計画期間は、概ね５年間とする。

○　なお、計画期間内において、計画の適切な進行管理及び社会情勢などの変化の把握に努め、必要に応じて計画の見直しを行う。

第２章　基本的な考え方

１．基本目標

○　弘前圏域８市町村における国土強靱化の取組を推進する上での「基本目標」を次のとおり設定した。

①　人命の保護が最大限図られること

②　弘前圏域８市町村及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること

③　住民の財産及び公共施設に係る被害の最小化

④　迅速な復旧・復興

２．事前に備えるべき目標

○　「基本目標」達成のために必要となる「事前に備えるべき目標」を次のとおり設定した。

いかなる大規模自然災害が発生しようとも

①　人命の保護が最大限図られること

②　救助・救急、医療活動等が迅速に行われること

③　必要不可欠な行政機能と情報通信機能を確保すること

④　必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること

⑤　重大な二次災害を発生させないこと

⑥　経済活動を機能不全に陥らせないこと

⑦　地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること

３．基本的な方針

○　弘前圏域８市町村における国土強靱化の取組を推進する上での「基本的な方針」を次のとおり設定した。

（１）弘前圏域８市町村の国土強靱化に向けた取組姿勢

①　国・県・他市町村等との一層の連携強化を図るとともに、住民等への情報提供・避難体制の強化等を推進すること

②　東日本大震災の経験や頻発する異常気象、人口減少問題など、幅広い観点から検討すること

③　災害に強い地域づくりを進めることにより、地域の活力の向上につなげること

④　弘前圏域の社会経済システムが有する潜在力、抵抗力、回復力、適応力を強化すること

⑤　それぞれのリスクや対応方策などを共有し、より良い取組・施策を構築するとともに、連携によりその効力・効果が増大するよう積極的に取り組むこと

（２）適切な施策の組み合わせ

①　ハード対策（ストック効果及び適切なインフラ管理・更新等）とソフト対策（防災人材育成及び防災訓練の推進等）を適切に組み合わせること

②　自助・共助・公助を適切に組み合わせること

③　非常時のみならず平時にも有効活用できる対策とすること

（３）効率的な施策の推進

① 人口減少等に起因する需要の変化等を踏まえ、効果的で効率的な施策の推進を図ること

② 国・県の施策、既存の社会資本、民間資金の活用を図ること

（４）弘前圏域の地域特性を踏まえた施策の推進

① 各市町村で定める総合計画等との調和を図ること

② 弘前圏域の地域特性を踏まえるとともに強みを生かした施策の推進を図ること

③ 寒冷多雪地域であることを踏まえ、冬期間における災害発生への対応を十分に考慮した対策とすること

第３章　想定するリスク

１．弘前圏域８市町村の地域特性

（１）自然環境

【位置】

○ 本州最北端青森県の南西部、津軽平野の南部に位置する盆地状の内陸型地域である。

【地勢】

○ 東に奥羽山脈の八甲田連峰を望み、西に「津軽富士」とも呼ばれる青森県最高峰の岩木山を有し、南には秋田県にまたがり世界遺産に登録されている白神山地が連なっている。

○ 山々に抱かれた平野部においては、白神山地に源を発し、やがては、十三湖を経て日本海にそそぐ県内最大の流域面積の一級河川である岩木川が約 30 キロメートルにおよび緩やかに北に向かって流れている。岩木川には、平川と浅瀬石川が合流し、その流域の広大な津軽平野は、土地がよく肥え、県内有数の田園地帯となっている。

○ また、平野部周辺の丘陵地帯には、生産量日本一を誇るりんご園が広がっている。さらにそれを取り巻くように山林地帯が伸び、緑豊かな自然環境に恵まれている。

【気候】

○ 気候は、概して夏が短く冬が長い、いわゆる日本海型気候に属しているが、三方を山に囲まれていることもあり、盆地のような内陸型気候に近く、全国有数の豪雪地帯といわれる青森県の中にあっては、比較的温暖な地域である。季節の移り変わりがはっきりし、桜やモミジなど四季折々の美しい津軽の自然を満喫できる。平均気温は約 11℃で、年間降水量（雨量）は約 1,200 ミリメートル（月平均約 100 ミリメートル）。

【河川】

○ 一級水系　岩木川（岩木川、平川、浅瀬石川、土淵川など）

【活火山】

○ 岩木山

【主な活断層】

○ 津軽山地西縁断層帯

・ 津軽山地西縁断層帯北部（五所川原市飯詰　～　青森市浪岡銀　約 16 ㎞）

・ 津軽山地西縁断層帯南部（青森市西部　～　平川市　約 23 ㎞）

（２）社会経済基盤等

【道路】

○　高速道路　　東北縦貫自動車道（弘前線）

○　国管理道路　国道７号

○　県管理道路　国道 102 号、339 号、394 号、454 号
　　主要地方道弘前岳鰺ヶ沢線ほか

【鉄道】

○　JR 奥羽本線、JR 五能線

○　弘南鉄道（弘南線、大鰐線）

（３）人口

【総人口・男女別人口】

区　分	H22 国勢調査	H27 国勢調査	増　減
総人口	**３０５，３４２人**	**２９１，７８９人**	**△１３，５５３人**
弘前市	１８３，４７３人	１７７，４１１人	△６，０６２人
黒石市	３６，１３２人	３４，２８４人	△１，８４８人
平川市	３３，７６４人	３２，１０６人	△１，６５８人
西目屋村	１，５９４人	１，４１５人	△１７９人
藤崎町	１６，０２１人	１５，１７９人	△８４２人
大鰐町	１０，９７８人	９，６７６人	△１，３０２人
田舎館村	８，１５３人	７，７８３人	△３７０人
板柳町	１５，２２７人	１３，９３５人	△１，２９２人
うち男性	**１４０，６１８人**	**１３４，１５７人**	**△６，４６１人**
弘前市	８４，０６４人	８１，３６７人	△２，６９７人
黒石市	１６，８０７人	１５，８３４人	△９７３人
平川市	１５，７４０人	１４，８７６人	△８６４人
西目屋村	８２４人	７０６人	△１１８人
藤崎町	７，４３０人	６，９８５人	△４４５人
大鰐町	４，９８３人	４，３８５人	△５９８人
田舎館村	３，８５６人	３，６５７人	△１９９人
板柳町	６，９１４人	６，３４７人	△５６７人
うち女性	**１６４，７２４人**	**１５７，６３２人**	**△７，０９２人**
弘前市	９９，４０９人	９６，０４４人	△３，３６５人
黒石市	１９，３２５人	１８，４５０人	△８７５人
平川市	１８，０２４人	１７，２３０人	△７９４人
西目屋村	７７０人	７０９人	△６１人
藤崎町	８，５９１人	８，１９４人	△３９７人
大鰐町	５，９９５人	５，２９１人	△７０４人
田舎館村	４，２９７人	４，１２６人	△１７１人
板柳町	８，３１３人	７，５８８人	△７２５人

【年齢３区分別人口】

区　分	H22 国勢調査	H27 国勢調査	増　減
年少人口（14 歳以下）	**１２．０%**	**１１．０%**	**△１．０Ｐｔ**
弘前市	１２．０%	１１．０%	△１．０Ｐｔ
黒石市	１２．８%	１１．３%	△１．５Ｐｔ
平川市	１２．１%	１１．３%	△０．８Ｐｔ
西目屋村	９．１%	９．１%	０．０Ｐｔ
藤崎町	１２．３%	１１・９%	△０．４Ｐｔ
大鰐町	９．７%	８．１%	△１．６Ｐｔ
田舎館村	１１．５%	１１．５%	０．０Ｐｔ
板柳町	１１．６%	１０．７%	△０．９Ｐｔ
生産年齢人口（15～64 歳）	**６１．５%**	**５８．６%**	**△２．９Ｐｔ**
弘前市	６２．４%	５９．６%	△２．８Ｐｔ
黒石市	６１．８%	５９．０%	△２．８Ｐｔ
平川市	６０．１%	５７．３%	△２．８Ｐｔ
西目屋村	５６．７%	５３．０%	△３．７Ｐｔ
藤崎町	６０．２%	５７．６%	△２．６Ｐｔ
大鰐町	５６．８%	５３．１%	△３．７Ｐｔ
田舎館村	６０．１%	５６．５%	△３．６Ｐｔ
板柳町	５９．０%	５５．３%	△３．７Ｐｔ
老年人口（65 歳以上）	**２６．５%**	**３０．４%**	**３．９Ｐｔ**
弘前市	２５．６%	２９．４%	３．８Ｐｔ
黒石市	２５．４%	２９．７%	４．３Ｐｔ
平川市	２７．８%	３１．４%	３．６Ｐｔ
西目屋村	３４．２%	３７．９%	３．７Ｐｔ
藤崎町	２７．５%	３０．５%	３．０Ｐｔ
大鰐町	３３．５%	３８．８%	５．３Ｐｔ
田舎館村	２８．４%	３２．０%	３．６Ｐｔ
板柳町	２９．４%	３４．０%	４．６Ｐｔ

【世帯数】

世帯数	H22 国勢調査	H27 国勢調査	増　減
圏域総世帯数	**１０８，３０５世帯**	**１０８，９６４世帯**	**６５９世帯**
弘前市	７０，１４２世帯	７１，１５２世帯	１，０１０世帯
黒石市	１１，７９４世帯	１１，７７０世帯	△２４世帯
平川市	１０，０６３世帯	１０，１２９世帯	６６世帯
西目屋村	５７０世帯	４８８世帯	△８２世帯
藤崎町	４，９１２世帯	４，９４２世帯	３０世帯
大鰐町	３，６４８世帯	３，４２１世帯	△２２７世帯
田舎館村	２，４０６世帯	２，３８２世帯	△２４世帯
板柳町	４，７７０世帯	４，６８０世帯	△９０世帯

【将来推計人口】

区　分	２０２０年	２０３０年	２０４０年
推計人口（※１）	**２７５，２３２人**	**２４０，２５０人**	**２０４，３５２人**
弘前市	１６９，６７２人	１５１，２８７人	１３１，３８９人
黒石市	３１，４６０人	２６，９０５人	２２，４１１人
平川市	３０，２２４人	２６，２４５人	２２，２１３人
西目屋村	１，２３８人	９５３人	７１７人
藤崎町	１４，３３０人	１２，４６０人	１０，５１９人
大鰐町	８，４４３人	６，２２５人	４，４１７人
田舎館村	７，３００人	６，２５９人	５，１４６人
板柳町	１２，５６５人	９，９１６人	７，５２２人

※1　国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」H30 推計

（４）消防・防災体制

【消防団員数】R2.4.1 現在

条例定数	５，０８５人
実員数	４，４６３人
充足率	８７．７%

【自主防災組織数】R2.4.1 現在

世帯数	１２４，８３２世帯
組織数	１８９団体
カバー世帯数	５２，２９２世帯
活動カバー率	４１．８%

【防災行政無線】R2.4.1 現在

屋外拡声子局	４４９基
戸別受信器	６１６基

２．対象とする自然災害

○　国民生活及び国民経済に大きな影響を及ぼすリスクについては、ひとたび大規模な自然災害が発生すれば、広域な範囲に甚大な被害をもたらす可能性があることから、国の基本計画においては、大規模自然災害を対象としている。

○　弘前圏域８市町村においても、国土強靱化基本計画と同様に「大規模自然災害」を「想定するリスク」として設定する。

○　「起きてはならない最悪の事態」の設定に当たっては、これまで青森県内において発生した災害による被害や、最新の被害想定調査の結果のほか、他都道府県における大規模自然災害の被害等を参考とするとともに、複数の自然災害が同時又は連続して発生する複合災害の発生可能性についても配慮する。

　また、大規模自然災害に起因する二次災害についても対象とする。

○　参考として、これまで弘前圏域において影響のあった自然災害について、地震・風水害・豪雪災害については被害状況等を、火山噴火については観測状況等を、以下に掲載する。

（１）地震

　甚大な被害が発生した過去の地震としては、昭和 43 年十勝沖地震、昭和 58 年日本海中部地震、平成６年三陸はるか沖地震、平成 23 年東日本大震災があげられる。

　なお、弘前圏域エリアは内陸部であることから、本計画では「津波」について、リスクとして想定しないこととする。

【主な地震災害】

災害名 （発生年月日）	震度等	死傷者	被害額
十勝沖地震 （S43.5.16）	マグニチュード　7.9 県内最大震度　5	死者　46 名 行方不明者　2 名 負傷者　671 名	470 億円
日本海中部地震 （S58.5.26）	マグニチュード　7.7 県内最大震度　5	死者　17 名 負傷者　25 名	518 億円
三陸はるか沖地震 （H6.12.28）	マグニチュード　7.5 県内最大震度　6	死者　3 名 負傷者　783 名	755 億円
東日本大震災 ※東北地方太平洋沖地震 （H23.3.11）	マグニチュード　9.0 県内最大震度　5 強	死者　3 名 行方不明者　1 名 負傷者　95 名	1,344 億円

※出典　青森県国土強靭化地域計画

（２）風水害

過去に発生した甚大な風水害としては、昭和 50 年、52 年の豪雨や、平成 3 年の台風による災害があげられ、複数の死傷者を伴う甚大な被害を被った。

【主な風水害】

発生年月日	死傷者	被害額	特徴
S44.8.23～24 （台風第 9 号）	死者（黒石市など）　2 名 負傷者　5 名	82 億円	大雨による河川の氾濫等、県内全域の被害
S50.8.5～7 （大雨）	死者（弘前市）　22 名 負傷者　46 名	121 億円	大雨による旧岩木町百沢地区の土砂災害（死者 22 名）等の被害
S50.8.20 （大雨）	死者（黒石市）　1 名 負傷者　25 名	531 億円	大雨による洪水、土砂災害等の被害
S52.8.5 （大雨）	死者（弘前市など）　11 名 負傷者　30 名	518 億円	津軽地方を中心に大雨による洪水、土砂災害等の被害
H3.9.28 （台風第 19 号）	死者（弘前市など）　9 名 負傷者　255 名	1,129 億円	津軽を中心に急激に風が強まり、人的被害をはじめ、りんごの落果等の甚大な被害
H25.9.28 （台風第 18 号）	負傷者　1 名	115 億円	大雨による岩木川や馬淵川等の河川の氾濫等の被害

※出典　青森県国土強靭化地域計画

（３）豪雪災害

弘前圏域エリアは、寒冷多雪地域であり、大雪、雪崩及び吹雪による人的、物的被害や交通障害が頻繁に発生している。

【近年における豪雪災害】

発生年月日	被害額 （青森県）	最大積雪深 （酸ヶ湯）	最大積雪深 （碇ヶ関）	最大積雪深 （弘前）
S59.1～3	１１９億円	４２３cm	１２０cm	１０９cm
S60.1～3	８９億円	４０８cm	９８cm	９７cm
S61.1～3	１０１億円	３９０cm	９４cm	１０９cm
H13.1～3	１３７億円	４２８cm	９１cm	８０cm
H17.1～3	１２９億円	５０１cm	１２８cm	１５０cm
H24.1～4	１０９億円	４９６cm	１０６cm	１２４cm
H25.1～4	１０６億円	５０６cm	１３０cm	１５３cm

※出典　青森県国土強靭化地域計画、気象庁 HP

（４）火山噴火

青森県には、岩木山、十和田、八甲田山及び恐山の４つの活火山があり、うち、噴火に際して弘前圏域エリアに支障を及ぼすのは岩木山、十和田の２つの活火山である。

火山活動を 24 時間体制で監視している火山（常時観測火山）は、八甲田山、岩木山、十和田となっており、本エリアで想定する活火山をカバーしている。

【観測体制及び火山活動】

火山名	観測体制	火山活動
岩木山	平成 21 年 6 月～ 常時観測	火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。 平成 28 年 7 月 26 日の噴火警戒レベルの運用開始に併せて噴火予報発表。 （噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）
十和田	平成 28 年 12 月～ 常時観測	十和田湖の中湖付近、深さ 5km を震源とする火山性地震が平成 28 年 7 月 22 日に 5 回、23 日に 16 回と一時的に増加したが、現在は火山性微動は観測されておらず、噴火の兆候は認められない。
八甲田山	平成 28 年 12 月～ 常時観測	平成 25 年 2 月以降、大岳山頂直下付近が震源と推定される火山性地震が発生し、同年４月下旬から７月中旬にかけて増加したが、７月下旬以降は減少傾向となり、現在も火山性地震は少ない状態で推移

※出典　青森県国土強靭化地域計画

３．起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）

○　国の基本計画をもとに、弘前圏域エリアの地域特性を踏まえ、「事前に備えるべき目標に沿って３１の「起きてはならない最悪の事態」を設定した。

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）	
1 人命の保護が最大限図られること	1-1	地震等による建築物の倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生
	1-2	異常気象等による広域的かつ長期的な市街地の浸水や河川の大規模氾濫
	1-3	火山噴火や土砂災害等による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり地域の脆弱性が高まる事態
	1-4	暴風雪や豪雪による重大事故や交通途絶等に伴う多数の死傷者の発生
	1-5	情報伝達の不備、麻痺、長期停止や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等に伴う多数の死傷者の発生
2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われること	2-1	被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止
	2-2	多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生
	2-3	自衛隊、警察、消防等の被災等により救助・救急活動等が実施できない事態
	2-4	救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶
	2-5	想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者（観光客等）への水・食料等の供給不足
	2-6	医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺
	2-7	被災地における疾病・感染症等の大規模発生
3 必要不可欠な行政機能と情報通信機能を確保すること	3-1	行政機関の職員・施設等の被災による行政機能の大幅な低下
	3-2	信号機の全面停止等による重大交通事故の多発
	3-3	電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止
4 経済活動を機能不全に陥らせないこと	4-1	サプライチェーンの寸断等による経済活動の停滞
	4-2	社会経済活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止
	4-3	基幹的交通ネットワーク（陸上）の機能停止
	4-4	食料等の安定供給の停滞
5 必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること	5-1	電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の長期停止
	5-2	上水道等の長期間にわたる機能停止
	5-3	汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止
	5-4	地域交通ネットワークが分断する事態
6 重大な二次災害を発生させないこと	6-1	ため池、防災施設、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生
	6-2	有害物質の大規模流出・拡散
	6-3	農地・森林等の荒廃による被害の拡大
	6-4	風評被害等による地域経済等への甚大な影響
7 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること	7-1	大量に発生する廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	7-2	道路啓開等の復旧・復興を担う人材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	7-3	地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	7-4	鉄道・幹線道路等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態

第４章　脆弱性評価

１．脆弱性評価の考え方

○　大規模自然災害による被害を回避するための対策（施策）や、社会経済システムの現状のどこに問題があるかについて把握するため、「脆弱性評価」を行った。

２．脆弱性評価の実施手順

○　起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）を回避するための施策を抽出し、その達成度や進捗を把握し、現状の脆弱性を総合的に分析・評価した。

○　現状で把握できるデータや施策の進捗状況等を踏まえて分析・評価を行った。

○　施策の達成度を示す「重要業績評価指標（ＫＰＩ）」を参考値として活用した。

第５章　脆弱性評価結果に基づく対応方策

１．対応方策とりまとめの考え方

○　「脆弱性評価」の結果を踏まえ、今後必要となる取組・施策を検討し「対応方策」として整理した。

○　とりまとめに当たっては、「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」ごとに「脆弱性評価」の結果と「対応方策」を対比して掲載した。

２．起きてはならない最悪の事態ごとの対応方策

【別添】各市町村の状況に合わせて、「起きてはならない最悪の事態ごと」に整理。

３．施策の重点化

○　限られた資源・財源で、国土強靱化の取組を効果的・効率的に推進するため、優先度の高い施策に重点化を図る必要がある。

○　本計画では、「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」を回避するための施策について、「住民の命と暮らしを守る」観点から、重点化すべき施策を選定した。

○　特に、人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオについては、これを回避するための施策について、優先的に実施することとした。

○　施策の重点化に当たっては、このリスクシナリオを回避するための施策を中心に、「人命の保護」を第一義に、次に掲げる「重点化の視点」を考慮し、総合的に判断した。

重点化の視点	説　　明
①　影響・効果の大きさ	「住民の命と暮らしを守る」観点から、影響・効果があるかなど
②　緊急性・切迫性	対策実施の緊急性や、災害リスクの切迫の度合い・頻度など
③　一層の進捗を図る必要性	全国水準や目標値に照らし、一層の進捗を図る必要があるかなど
④　『各市町村における「総合計画」等』における優先度	『各市町村における「総合計画」等』における位置付けなど
⑤　各市町村の役割の大きさ	各市町村以外に適切な実施主体がない場合や、各市町村の役割の大きさなど
⑥　自助・共助の推進	地域の防災力・減災力の向上に資する取組かどうかなど

第６章　計画の推進

１．計画の推進

○　本計画に掲げる施策の実効性を確保するため、弘前圏域８市町村間の連携はもとより、国、県、市町村、民間事業者等との連携を図りながら、効果的な施策の推進につなげていく。

２．計画の進捗管理

○　本計画の推進に当たっては、『各市町村における「総合計画」等』に係る政策・施策の点検結果など、既存の政策点検の結果を活用・集約し進捗状況を概括的に評価することにより、進捗管理を行う。

３．他の計画等の見直し

○　本計画は、弘前圏域８市町村の様々な分野の計画等について、国土強靱化に係る事項を補完し、その着実な推進を図るための指針となるものであることから、他の計画等においては、計画の見直しや次期計画を策定する際には、本計画を踏まえた検討を行い整合を図ることとする。

資料１　計画策定までの経過・策定体制

１．計画策定までの経過

弘前圏域８市町村国土強靭化地域計画検討会（以下、「市町村検討会」という）及び弘前圏域８市町村国土強靭化地域計画有識者検討会（以下、「有識者検討会」という）などの開催経過について記載。

令和２年	
４月　９日	**市町村検討会　設置** （事務局及び所在を弘前市防災課として設置）
４月２３日	**市町村検討会（第１回）　書面開催** （策定の主旨、計画の位置付け、体制、スケジュール等確認）
５月２９日	**有識者検討会（第１回）　設置・開催** （策定の主旨、計画の位置付け、体制、スケジュール等確認）
１１月１６日	**市町村検討会（第２回）　開催** （計画（素案）の確認、作業スケジュール等確認）
１１月２５日	**有識者検討会（第２回）　開催** （計画（素案）について意見聴取）
１２月　１日	**パブリックコメント** （計画（素案）について意見聴取　１２月１日～２８日）
令和３年	
１月２８日	**市町村検討会（第３回）　開催** （計画（最終案）の確認、作業及び策定スケジュール等確認）
１月２８日	**有識者検討会（第３回）　開催** （計画（最終案）について意見聴取）
３月　１日	**計画策定**

２．策定体制

○弘前圏域８市町村国土強靭化地域計画検討会

市町村名	担当部署
弘前市	総務部防災課防災係
黒石市	総務部総務課防災管理室防災管理係
平川市	総務部総務課消防防災係
西目屋村	総務課防災係
藤崎町	総務課防災係
大鰐町	総務課消防防災係
田舎館村	総務課防災交通係
板柳町	総務課消防防災係

○弘前圏域８市町村国土強靭化地域計画有識者検討会

１．設置主旨

弘前圏域８市町村国土強靭化地域計画策定するに当たり、学識経験を有する者等から幅広く意見を聴取するために設置。

２．アドバイザー名簿

所属・役職	氏名	分野
弘前大学教授　※メインアドバイザー	片岡　俊一	地震
弘前学院大学教授	葛西　久志	社会福祉
弘前医療福祉大学教授	立岡　伸章	地域防災（救急）
青森河川国道事務所長	一戸　欣也	行政（国）
青森県危機管理局防災危機管理課長	簗田　　潮	行政（県）
青森県中南地域県民局地域整備部長	田中　克人	行政（県）

起きてはならない最悪の事態ごとの対応方策（目次）

項　目		頁
1-1	地震等による建築物の倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生	16
1-2	異常気象等による広域的かつ長期的な市街地の浸水や河川の大規模氾濫	17
1-3	火山噴火や土砂災害等による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり地域の脆弱性が高まる事態	18
1-4	暴風雪や豪雪による重大事故や交通途絶等に伴う多数の死傷者の発生	19
1-5	情報伝達の不備、麻痺、長期停止や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等に伴う多数の死傷者の発生	19
2-1	被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	20
2-2	多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生	21
2-3	自衛隊、警察、消防等の被災等により救助・救急活動等が実施できない事態	22
2-4	救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶	23
2-5	想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者（観光客等）への水・食料等の供給不足	23
2-6	医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺	24
2-7	被災地における疾病・感染症等の大規模発生	25
3-1	行政機関の職員・施設等の被災による行政機能の大幅な低下	25
3-2	信号機の全面停止等による重大交通事故の多発	26
3-3	電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止	26
4-1	サプライチェーンの寸断等による経済活動の停滞	27
4-2	社会経済活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止	27
4-3	基幹的交通ネットワーク（陸上）の機能停止	28
4-4	食料等の安定供給の停滞	28
5-1	電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の長期停止	29
5-2	上水道等の長期間にわたる機能停止	29
5-3	汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止	30
5-4	地域交通ネットワークが分断する事態	30
6-1	ため池、防災施設、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生	31
6-2	有害物質の大規模流出・拡散	31
6-3	農地・森林等の荒廃による被害の拡大	32
6-4	風評被害等による地域経済等への甚大な影響	32
7-1	大量に発生する廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態	33
7-2	道路啓開等の復旧・復興を担う人材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態	34
7-3	地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態	35
7-4	鉄道・幹線道路等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態	35

起きてはならない最悪の事態ごとの対応方策（概要）

事前に備えるべき目標

1　人命の保護が最大限図られること

リスクシナリオ

1－1　地震等による建築物の倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

地震等による建築物の倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生を防ぐため、建築物等の耐震化や老朽化対策を推進するとともに、住民の避難場所の確保や防災意識の醸成、救助活動を実施する消防力の向上等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【住宅・病院・学校等の耐震化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・住宅の耐震化	○	○	○	○	○	○	○	○
・大規模建築物の耐震化	○	○	○		○	○	○	○
・公営住宅の耐震化・老朽化対策	○	○	○		○		○	○
・病院施設の耐震化	○	○	○		○	○		○
・社会福祉施設等の耐震化	○	○	○		○	○	○	○
・公立学校施設等の耐震化・老朽化対策	○	○	○	○	○	○	○	○
・建築物等からの二次災害防止対策	○	○	○	○	○	○	○	○
・ブロック塀等の安全対策	○	○	○	○	○	○	○	○
・学校施設等の非構造部材の耐震化	○	○	○	○	○	○	○	○
・文化財の防災対策の推進	○	○	○	○		○	○	○
【公共建築物・防災施設等の耐震化・老朽化対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・公共建築物、インフラ施設の耐震化・老朽化対策	○	○	○	○	○	○	○	○
・市町村庁舎、消防本部等の耐震化･老朽化対策	○	○	○	○	○	○	○	○
・ため池施設の耐震化・老朽化対策	○	○	○	○		○	○	
【市街地の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・都市公園における防災対策	○	○	○		○	○	○	
・幹線街路の整備	○	○			○		○	
【道路施設の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策	○	○	○		○	○	○	
・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策	○	○	○	○	○	○	○	○
・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策	○	○	○	○	○	○	○	○
【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備	○	○	○		○	○	○	○
【空き家対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・空き家対策	○	○	○	○	○	○	○	○
【防火対策・消防力強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・防火対策	○	○	○	○	○	○	○	○
・消防力の強化	○	○	○	○	○	○	○	○
・消防団の充実	○	○	○	○	○	○	○	○
・防災ヘリコプター等の活動の確保	○	○	○	○	○	○	○	○
【避難場所の指定・確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・指定緊急避難場所及び指定避難所の指定	○	○	○	○	○	○	○	○
・福祉避難所の指定・協定締結	○	○	○	○	○	○	○	○
・防災公共の推進	○	○	○	○	○	○	○	
・福祉施設・学校施設等の安全対策	○	○	○	○	○	○	○	○
【避難行動支援】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・避難行動要支援者名簿の作成	○	○	○	○	○	○	○	○
・避難行動要支援者名簿の活用	○	○	○	○	○	○	○	○
【防災意識の啓発・地域防災力の向上】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・自主防災組織の設立・活性化支援	○	○	○	○	○	○	○	○
・防災意識の啓発	○	○	○	○	○	○	○	○
・防災訓練の推進	○	○	○	○	○	○	○	○
・地区防災計画策定の推進	○	○	○		○	○	○	○

事前に備えるべき目標

1　人命の保護が最大限図られること

リスクシナリオ

1－2　異常気象等による広域的かつ長期的な市街地の浸水や河川の大規模氾濫

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

広域的かつ長期的な市街地等の浸水や河川の大規模氾濫による被害の発生を防ぐため、河川・ダム施設等の防災対策を推進するとともに、警戒・避難体制の整備や住民の避難場所の確保、救助活動を実施する消防力の向上等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【市街地の浸水対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・市街地の浸水対策	○	○	○		○	○	○	○
【河川施設等の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・河川関連施設の老朽化対策	○		○	○	○	○	○	
・遊休地を利用した治水対策	○							
・内水危険箇所の被害防止対策	○		○		○	○	○	○
・農業用ため池の防災対策	○	○	○	○		○	○	
・農業水利施設の防災対策・老朽化対策	○	○	○	○	○	○	○	○
【警戒避難体制の整備】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・洪水ハザードマップの作成	○	○	○	○	○	○	○	○
・内水ハザードマップの作成	○		○		○		○	
・避難勧告等発令の支援	○	○	○	○	○	○	○	○
・避難勧告等の発令基準の作成	○	○	○	○	○	○	○	○
・住民等への情報伝達手段の多重化	○	○	○	○	○	○	○	○
・県・市町村・防災関係機関における情報伝達	○	○	○	○	○	○	○	○
【避難場所の指定・確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・指定緊急避難場所及び指定避難所の指定　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・福祉避難所の指定・協定締結　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・防災公共の推進　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	
・福祉施設・学校施設等の安全対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・都市公園における防災対策　※再掲	○	○	○		○	○	○	
【避難行動支援】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・避難行動要支援者名簿の作成　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・避難行動要支援者名簿の活用　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【消防力強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・消防力の強化　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・消防団の充実　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【防災意識の啓発・地域防災力の向上】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・水防災意識社会再構築ビジョンの取組	○	○	○	○	○	○	○	○
・防災意識の啓発　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・地区防災計画策定の推進　※再掲	○	○	○		○	○	○	○
・水防団の充実強化	○	○	○	○	○	○	○	○

事前に備えるべき目標

1　人命の保護が最大限図られること

リスクシナリオ

1－3　火山噴火や土砂災害等による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり地域の脆弱性が高まる事態

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

火山噴火や土砂災害等による多数の死傷者の発生及び地域の脆弱性が高まる事態を防ぐため、警戒避難体制の整備や住民の防災意識の醸成、登山者等の安全対策等を推進するとともに、土砂災害対策施設の整備や老朽化対策の推進等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【警戒避難体制の整備】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・土砂災害ハザードマップの作成・公表	○	○	○	○	○	○		
・避難勧告等発令及び自主避難のための情報提供	○	○	○	○	○	○		
【農山村地域における防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・農山村地域における防災対策	○	○	○	○		○		
・農業用ため池の防災対策　※再掲	○	○	○			○		
【警戒避難体制の整備】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・岩木山の警戒避難体制の整備	○			○	○			○
・八甲田山の警戒避難体制の整備		○	○					
・十和田の警戒避難体制の整備	○	○	○		○	○	○	○
・火山の警戒体制の強化	○	○	○	○	○	○		○
【登山者等の安全対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・登山者等の安全対策	○							
・情報通信利用環境の強化	○							
【避難場所の指定・確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・指定緊急避難場所及び指定避難所の指定　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・福祉避難所の指定・協定締結　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・防災公共の推進　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	
・福祉施設・学校施設等の安全対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・都市公園における防災対策　※再掲	○	○	○		○	○	○	
【避難行動支援】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・避難行動要支援者名簿の作成　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・避難行動要支援者名簿の活用　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【消防力の強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・消防力の強化　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・消防団の充実　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【防災意識の啓発・地域防災力の向上】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・土砂災害に対する防災意識の啓発	○	○	○	○	○	○		
・火山に対する防災意識の啓発	○	○	○	○	○	○	○	○
・自主防災組織の設立・活性化支援　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○

事前に備えるべき目標

1　人命の保護が最大限図られること

リスクシナリオ

1－4　暴風雪や豪雪による重大事故や交通途絶等に伴う多数の死傷者の発生

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

暴風雪や豪雪による重大事故や交通途絶等に伴う多数の死傷者の発生を防ぐため、道路交通の確保に向けた防雪施設の整備や除排雪体制の強化を推進するとともに、代替交通手段の確保や住民の防災意識の醸成等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【道路交通の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・除排雪体制の強化	○	○	○	○	○	○	○	○
【防雪施設の整備】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・防雪施設の整備	○	○	○	○	○	○	○	○
【代替交通手段の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・代替交通手段の確保	○	○	○		○	○	○	○
【情報通信の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・情報通信利用環境の強化　※再掲	○	○	○	○	○		○	
【防災意識の啓発・地域防災力の向上】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・冬季の防災意識の啓発	○	○	○	○	○	○	○	○

リスクシナリオ

1－5　情報伝達の不備、麻痺、長期停止や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等に伴う多数の死傷者の発生

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

情報伝達の不備等に起因した避難行動の遅れ等による多数の死傷者の発生を防ぐため、行政機関における情報連絡体制や住民等への情報提供体制を強化するとともに、住民の防災意識の醸成や防災教育の推進等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【行政情報連絡体制の強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・県・市町村・防災関係機関における情報伝達　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【住民等への情報伝達の強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・住民等への情報伝達手段の多重化　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・情報通信利用環境の強化　※再掲	○	○	○	○	○		○	○
・障がい者等に対する ICT 利活用支援	○		○	○	○		○	○
・障がい者等に対する避難情報伝達	○	○	○	○	○	○	○	○
・外国人観光客等に対する防災情報提供体制の強化	○	○	○	○	○	○	○	○
【防災意識の啓発・地域防災力の向上】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・防災意識の啓発　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・防災情報の入手に関する普及啓発	○	○	○	○	○	○	○	○
・地区防災計画策定の推進　※再掲	○	○	○		○	○	○	○
【防災教育の推進・学校防災体制の確立】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・防災教育の推進	○	○	○	○	○	○	○	○
・学校防災体制の確立	○	○	○	○	○	○	○	○

事前に備えるべき目標

2　救助・救急、医療活動等が迅速に行われること

リスクシナリオ

2－1　被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止を防ぐため、支援物資等の供給体制の確保や水道施設・物流関連施設の防災対策の推進を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【支援物資等の供給体制の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・非常物資の備蓄	○	○	○	○	○	○	○	○
・災害発生時の物流インフラの確保	○	○	○	○	○	○	○	○
・石油燃料供給の確保	○	○	○	○	○	○	○	○
・避難所等への燃料等供給の確保	○	○	○	○	○	○	○	○
・避難所における水等の確保	○	○	○	○	○	○	○	○
・災害応援の受入体制の構築	○	○	○	○	○	○	○	○
・救援物資等の受援体制の構築	○	○	○	○	○	○	○	○
・要配慮者（難病疾患等）への医療的支援	○	○	○		○	○	○	○
・災害用医薬品等の確保	○	○	○		○	○	○	○
【水道施設の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・水道施設の耐震化・老朽化対策	○	○	○	○	○	○	○	○
・応急給水資機材の整備	○	○	○	○	○	○	○	○
・水道施設の応急対策	○	○	○	○	○	○	○	○
【道路施設の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○		○	○	○	
・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・道路における障害物の除去	○	○	○	○	○	○	○	○
【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備　※再掲	○	○	○		○	○	○	○
【食料生産体制の強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・食料生産体制の強化	○	○	○	○	○	○	○	○
・農業・水産施設の老朽化対策	○	○	○		○			○

事前に備えるべき目標

2　救助・救急、医療活動等が迅速に行われること

リスクシナリオ

2－2　多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生を防ぐため、孤立するおそれのある集落の把握や、これに通じる道路施設の防災対策を推進するとともに、代替交通・輸送手段の確保等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【集落の孤立防止対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・集落の孤立防止対策	○	○	○	○	○	○		
【孤立集落発生時の支援体制の構築】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・孤立集落発生時の支援体制の確保	○	○	○	○	○	○		○
【代替交通・輸送手段の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・代替交通手段の確保　※再掲	○	○	○		○	○	○	○
・代替輸送手段の確保	○	○	○	○	○	○	○	○
【防災ヘリコプターの運航の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・防災ヘリコプター等の活動の確保　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【ドクターヘリの運航の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・ドクターヘリの運航確保	○	○	○	○	○	○	○	○
【情報通信の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・情報通信利用環境の強化　※再掲	○	○	○	○	○		○	○
【道路施設の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○		○	○	○	
・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・道路における障害物の除去　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・復旧作業等に係る技術者等の確保	○	○	○	○	○	○	○	○

事前に備えるべき目標

2　救助・救急、医療活動等が迅速に行われること

リスクシナリオ

2－3　自衛隊、警察、消防等の被災等により救助・救急活動等が実施できない事態

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

自衛隊、警察、消防等が有する救助・救急活動等の能力を十分に発揮できない事態や、被災等により活動できない事態を防ぐため、防災関連施設の耐震化・老朽化対策等を推進するとともに、関係機関の連携強化、救急・救助体制の強化や受援体制の構築等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【防災関連施設の耐震化・老朽化対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・市町村庁舎、消防本部等の耐震化･老朽化対策 ※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【災害対策本部等機能の強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・災害対策本部機能の強化	○	○	○	○	○	○	○	○
【関係機関の連携強化・防災訓練の推進】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・災害発生時の緊急消防援助隊の連携強化	○	○	○	○	○	○	○	○
・防災航空隊への航空支援	○	○	○	○	○	○	○	○
・医療従事者確保に係る連携体制	○	○	○	／	○	○	○	○
・総合防災訓練の実施	○	○	○	○	○	○	○	○
・図上訓練の実施	○	○	○	○	○	○	○	○
【救急・救助活動の体制強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・消防力の強化　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・消防団の充実　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・災害医療･救急救護･福祉支援に携わる人材の育成	○	○	／	／	○	／	／	○
・救急・救助活動等の体制強化	○	○	○	○	○	○	○	○
【支援物資等の供給体制の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・災害応援の受入体制の構築　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・救援物資等の受援体制の構築　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【防災意識の啓発・地域防災力の向上】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・防災意識の啓発　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・防災訓練の推進　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・自主防災組織の設立・活性化支援　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・地域防災リーダーの育成	○	○	○	○	○	○	○	○
・地区防災計画策定の推進　※再掲	○	○	○	／	○	○	○	○

事前に備えるべき目標　2　　救助・救急、医療活動等が迅速に行われること
リスクシナリオ　2－3　自衛隊、警察、消防等の被災等により救助・救急活動等が実施できない事態
リスクシナリオ　2－4　救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶
リスクシナリオ　2－5　想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者（観光客等）への水・食料等の供給不足

事前に備えるべき目標

2　救助・救急、医療活動等が迅速に行われること

リスクシナリオ

2－4　救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶を防ぐため、緊急車両・災害拠点病院等に対する燃料供給の確保や、輸送路の確保を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【緊急車両・災害拠点病院に対する燃料の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・石油燃料供給の確保　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・緊急車両等への燃料供給の確保	○	○	○	○	○	○	○	○
・医療施設の燃料等確保	○	○	○	／	○	○	／	○
【防災ヘリ・ドクターヘリの燃料の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・防災ヘリコプターの燃料確保	○	○	○	／	○	○	／	○
・ドクターヘリの燃料確保	○	○	○	／	○	○	／	○
【道路施設の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○	／	○	○	○	／
・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・道路における障害物の除去　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○

リスクシナリオ

2－5　想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者（観光客等）への水・食料等の供給不足

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

祭り期間中の災害発生等により、多数の県外来訪客等が避難できない事態や、避難生活が長期にわたること等により水・食料等の供給が不足する事態を防ぐため、避難場所や支援物資の供給を確保する。また、外国人観光客等に対する情報提供体制の強化等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【帰宅困難者の避難体制の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・観光客の避難体制の強化	○	○	○	○	○	○	○	○
・観光客等に対する広域避難の強化	○	○	○	○	○	○	○	○
【支援物資等の供給体制の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・非常物資の備蓄　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・応急給水資機材の整備　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・災害応援の受入体制の構築　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・救援物資等の受援体制の構築　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【情報伝達の強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・外国人観光客等に対する防災情報提供体制の強化　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・交通規制等の交通情報提供	○	○	○	○	○	○	○	○
【帰宅困難者の輸送手段の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・バスによる帰宅困難者の輸送	○	○	○	○	○	○	○	○

事前に備えるべき目標

2　救助・救急、医療活動等が迅速に行われること

リスクシナリオ

2－6　医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

医療施設及び関係者の絶対的不足等による医療機能の麻痺を防ぐため、病院・福祉施設等の耐震化を推進するとともに、医療圏単位での医療連携体制の構築や災害医療派遣等による連携体制の構築等を図る。また、避難に当たり配慮を要する方々に対する支援体制を構築する。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【病院・福祉施設等の耐震化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・病院施設の耐震化　※再掲	○	○	○	／	○	○	／	○
・社会福祉施設等の耐震化　※再掲	○	○	○	／	○	○	○	○
【災害発生時における医療提供体制の構築】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・災害時医療の連携体制	○	○	○	／	○	○	○	○
・災害医療･救急救護･福祉支援に携わる人材の育成　※再掲	○	○	／	／	○	／	／	○
・医療従事者確保に係る連携体制　※再掲	○	○	○	／	○	○	○	○
・保健医療の連携体制	○	○	○	○	○	○	○	○
・応急手当等の普及啓発	○	○	○	／	○	○	○	○
・医療機関における水源の確保	○	○	／	／	○	○	／	○
・広域搬送の体制の確保	○	○	○	／	○	○	○	○
・お薬手帳の利用啓発	○	○	○	○	○	○	○	○
【ドクターヘリの運航の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・ドクターヘリの運航確保　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【防災ヘリコプターの運航の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・防災ヘリコプター等の活動の確保　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【避難者の健康対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・避難所外避難者の対策	○	○	○	○	○	○	○	○
・長期間にわたる避難生活対策	○	○	○	○	○	○	○	○
【要配慮者への支援等】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・要配慮者等への支援	○	○	○	○	○	○	○	○
・男女のニーズの違いに配慮した支援	○	○	○	○	○	○	○	／
・心のケア体制の確保	○	○	○	○	○	○	○	○
・児童生徒の心のサポート	○	○	○	○	○	○	○	○
・外国人観光客等に対する防災情報提供体制の強化　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・動物救護対策	○	○	○	／	○	○	○	○
【道路施設の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○	／	○	○	○	／
・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・道路における障害物の除去　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○

事前に備えるべき目標　2　　救助・救急、医療活動等が迅速に行われること
　　リスクシナリオ　2－6　医療施設及び絶対的不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺
　　リスクシナリオ　2－7　被災地における疫病・感染症等の大規模発生
事前に備えるべき目標　3　　必要不可欠な行政機能と情報通信機能を確保すること
　　リスクシナリオ　3－1　行政機関の職員・施設等の被災による行政機能の大幅な低下

事前に備えるべき目標

2　救助・救急、医療活動等が迅速に行われること

リスクシナリオ

2－7　被災地における疫病・感染症等の大規模発生

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

被災地における疫病・感染症等の大規模発生を防ぐため、避難所における良好な生活環境の確保や平時における予防接種等を推進するとともに、下水道施設の機能確保を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【感染症対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・避難所における衛生環境の維持	○	○	○	○	○	○	○	○
・感染症への意識向上及び対応策の整備	○	○	○	○	○	○	○	○
・予防接種の促進	○	○	○	○	○	○	○	○
【下水道施設の機能確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・下水道施設の耐震化・老朽化・耐水化対策	○	○	○		○	○	○	○
・農業集落排水施設の耐震化・老朽化対策	○	○	○	○	○		○	○
・下水道事業の業務継続計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○

事前に備えるべき目標

3　必要不可欠な行政機能と情報通信機能を確保すること

リスクシナリオ

3－1　行政機関の職員・施設等の被災による行政機能の大幅な低下

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

行政機関の職員・施設等の被災による行政機能の大幅な低下を防ぐため、庁舎等の耐震化・老朽化対策や情報通信基盤の耐災害性の強化を推進するとともに、業務継続計画の策定や応援・受援体制の構築等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【災害対応庁舎等における機能の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・公共建築物、インフラ施設の耐震化・老朽化対策　　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・市町村庁舎、消防本部等の耐震化･老朽化対策 ※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・代替庁舎の確保・災害対策本部機能の移転訓練	○	○	○	○	○	○	○	○
・行政施設の非常用電源の整備	○	○	○	○	○	○	○	○
【行政情報通信基盤の耐災害性の強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・県・市町村・防災関係機関における情報伝達 ※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・行政情報通信基盤の耐災害性の強化	○	○	○	○	○	○	○	○
・行政情報の災害対策	○	○	○	○	○	○	○	○
【行政機関の業務継続計画の策定】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・業務継続計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○
【災害対策本部等機能の強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・災害対策本部機能の強化　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【受援・連携体制の構築】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・広域連携体制の構築	○	○	○	○	○	○	○	○
・災害応援の受入体制の構築　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【防災訓練の推進】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・総合防災訓練の実施　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・図上訓練の実施　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○

事前に備えるべき目標

３　必要不可欠な行政機能と情報通信機能を確保すること

リスクシナリオ

３－２　信号機の全面停止等による重大交通事故の多発

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

信号機の全面停止等による重大交通事故の多発を防ぐため、信号機の電源対策や交通整理人員の確保等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【災害に備えた道路交通環境の整備】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・災害発生時の交通整理体制の構築	○	○	○	○	○	○	○	○

リスクシナリオ

３－３　電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止を防ぐため、行政情報通信基盤の耐災害性の強化や非常用電源の整備等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【情報通信基盤の耐災害性の強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・電気通信事業者・放送事業者の災害対策	○	○	○	○	○	○	○	○
・県・市町村・防災関係機関における情報伝達　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・無線通信の冗長化	○	○	○	○	○	○	○	○
・総合防災訓練の実施　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【電力の供給停止対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・エネルギー供給事業者の災害対策	○	○	○	○	○	○	○	○
・行政施設の非常用電源の整備　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○

事前に備えるべき目標　3　　必要不可欠な行政機能と情報通信機能を確保すること
　　リスクシナリオ　3－2　信号機の全面停止等による重大事故の多発
　　リスクシナリオ　3－3　電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止
事前に備えるべき目標　4　　経済活動を機能不全に陥らせないこと
　　リスクシナリオ　4－1　サプライチェーンの寸断等による経済活動の停滞
　　リスクシナリオ　4－2　社会経済活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止

事前に備えるべき目標

4　経済活動を機能不全に陥らせないこと

リスクシナリオ

4－1　サプライチェーンの寸断等による経済活動の停滞

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

サプライチェーンの寸断等による経済活動の停滞を防ぐため、企業等における業務継続体制を強化するとともに、物流機能の維持・確保等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【企業における業務継続体制の強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・企業の業務継続計画作成の促進	○	○	○		○	○	○	○
【農林水産物の移出・流通対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・農林水産物の移出・流通対策	○	○	○		○	○	○	
【物流機能の維持・確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・災害発生時の物流機能の確保	○	○	○	○	○	○	○	○
・輸送ルートの代替性の確保	○	○	○	○	○	○	○	○
【被災企業の金融支援】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・被災企業への金融支援等	○	○	○		○	○	○	○
【人材育成を通じた産業の体質強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・人材育成を通じた産業の体質強化	○	○	○	○	○	○	○	○
【道路施設の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○		○	○	○	
・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・道路における障害物の除去　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備　※再掲	○	○	○		○	○	○	○

リスクシナリオ

4－2　社会経済活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

社会経済活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止を防ぐため、エネルギー供給事業者の災害対策や石油製品の安定供給体制の構築を推進するとともに、企業における業務継続体制の強化等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【エネルギー供給体制の強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・エネルギー供給事業者の災害対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・石油元売会社からの供給確保	○	○	○		○	○		○
・石油燃料供給の確保　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【企業における業務継続体制の強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・企業の業務継続計画作成の促進　※再掲	○	○	○		○	○	○	○
【道路施設の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○		○	○	○	
・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・道路における障害物の除去　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○

事前に備えるべき目標

４　経済活動を機能不全に陥らせないこと

リスクシナリオ

４－３　基幹的交通ネットワーク（陸上）の機能停止

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

基幹的交通ネットワークの機能停止を防ぐため、道路、鉄道施設の防災対策の強化を図るとともに、高規格幹線道路等の整備を推進する。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【道路施設の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○		○	○	○	
・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・道路における障害物の除去　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・幹線街路の整備　※再掲	○	○			○		○	○
【基幹的道路交通ネットワークの形成】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・基幹的道路交通ネットワークの形成	○	○	○		○		○	○
【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備　※再掲	○	○	○		○	○	○	○

リスクシナリオ

４－４　食料等の安定供給の停滞

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

食料等の安定供給の停滞を防ぐため、自給食料の確保に向けて、平時から地元食料品の生産・供給体制の強化等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【被災農林漁業者の金融支援】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・被災農林漁業者への金融支援	○	○	○	○	○	○	○	
【食料流通機能の維持・確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・食料市場の早期復旧体制の構築	○	○	○		○	○		
・災害発生時における適正価格の維持	○	○	○	○	○	○	○	○
【地元食料品の生産・供給体制の強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・食料生産体制の強化　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・多様なニーズに対応した特産品づくり	○	○	○	○	○	○	○	○
・地元産の食料品の供給を支える人づくり	○	○	○		○	○	○	○
・食料品製造業者の供給体制強化	○	○	○		○	○	○	
・農業・水産施設の老朽化対策　※再掲	○	○	○		○			○
【用水供給体制の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・用水供給体制の確保	○	○	○		○	○	○	○

事前に備えるべき目標　4　　経済活動を機能不全に陥らせないこと
　　リスクシナリオ　4－3　基幹的交通ネットワーク（陸上）の機能停止
　　リスクシナリオ　4－4　食料等の安定供給の停滞
事前に備えるべき目標　5　　必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること
　　リスクシナリオ　5－1　電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の長期停止
　　リスクシナリオ　5－2　上水道等の長期間にわたる機能停止

事前に備えるべき目標

5　必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること

リスクシナリオ

5－1　電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の長期停止

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の長期停止を防ぐため、エネルギー供給事業者の災害対策や石油製品の安定供給体制の構築を推進するとともに、再生可能エネルギーの導入促進等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【エネルギー供給体制の強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・エネルギー供給事業者の災害対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・ガス供給施設の老朽化対策	○	○	○		○	○		○
・避難所等への燃料等供給の確保　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・企業の業務継続計画作成の促進　※再掲	○	○	○		○	○	○	○
・石油燃料供給の確保　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【再生可能エネルギーの導入促進】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・再生可能エネルギーの導入	○	○	○	○	○	○	○	○
・電力系統の接続制約等の改善	○	○	○	○		○		○
【道路施設の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○		○	○	○	
・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・道路における障害物の除去　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○

リスクシナリオ

5－2　上水道等の長期間にわたる機能停止

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

上水道等の長期間にわたる機能停止を防ぐため、水道施設等の耐震化・老朽化対策や、早期復旧のための体制の整備等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【水道施設の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・水道施設の耐震化・耐水化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・水道施設の応急対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・水道事業者の業務継続計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○

事前に備えるべき目標

5　必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること

リスクシナリオ

5－3　汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止を防ぐため、下水道施設や農業集落排水施設等の耐震化・老朽化対策等の推進を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【下水道施設の機能確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・下水道施設の耐震化・老朽化対策　※再掲	○	○	○		○	○	○	○
・下水道事業の業務継続計画の策定　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・農業集落排水施設等の耐震化・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○		○	○
・農業集落排水施設等の耐災害性の確保	○	○	○	○	○		○	○
・避難所等におけるトイレ機能の確保	○	○	○	○	○	○	○	○
【合併処理浄化槽への転換の促進】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・合併処理浄化槽への転換の促進	○	○	○		○	○		

リスクシナリオ

5－4　地域交通ネットワークが分断する事態

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

地域交通ネットワークが分断する事態を防ぐため、道路施設や鉄道施設の防災対策を推進するとともに、バス路線等の維持を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【道路施設の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○		○	○	○	
・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・道路における障害物の除去　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備　※再掲	○	○	○		○	○	○	○
【路線バスの運行体制の維持】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・路線バスの運行体制の維持	○	○	○	○	○	○	○	○

事前に備えるべき目標　5　　必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること
　　リスクシナリオ　5－3　汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止
　　リスクシナリオ　5－4　地域交通ネットワークが分断する事態
事前に備えるべき目標　6　　重大な二次災害を発生させないこと
　　リスクシナリオ　6－1　ため池、防災施設、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生
　　リスクシナリオ　6－2　有害物質の大規模流出・拡散

事前に備えるべき目標

6　重大な二次災害を発生させないこと

リスクシナリオ

6－1　ため池、防災施設、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

ため池、防災施設、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生を防ぐため、ダム施設、防災施設等の老朽化対策等を推進するとともに、ため池ハザードマップの作成により危険地区の周知や防災意識の醸成を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【ため池等の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・農業用ため池の防災対策　※再掲	○	○	○	○		○	○	
・ため池ハザードマップの作成	○	○	○	○		○	○	
【防災施設の機能維持】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・農山村地域における防災対策　※再掲	○	○	○	○		○		

リスクシナリオ

6－2　有害物質の大規模流出・拡散

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

有害物質の大規模流出・拡散による二次災害の発生を防ぐため、有害物質取扱事業所等に対する監視・検査指導等を通じた流出・拡散防止対策の推進や、坑廃水処理関係施設の稼働の確保等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【有害物質の流出・拡散防止対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・有害物質の流出・拡散防止対策	○	○	○	○	○	○	○	○
・公共用水域等への有害物質の流出・拡散防止対策	○	○	○	○	○	○	○	○
・有害な産業廃棄物の流出等防止対策	○	○	○		○	○	○	○
・大気中への有害物質の飛散防止対策	○	○	○		○	○	○	○
【有害物質流出時の処理体制の構築】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・有害物質流出時の処理体制の構築	○	○	○	○	○	○	○	○
・有害物質の大規模流出・拡散対応	○	○	○	○	○	○	○	○

事前に備えるべき目標

6　重大な二次災害を発生させないこと

リスクシナリオ

6－3　農地・森林等の荒廃等による被害の拡大

※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

農地・森林等の荒廃等による被害の拡大を防ぐため、荒廃農地等の発生防止・利用促進や森林資源の適切な保全管理を推進するとともに、治山施設等の老朽化対策等を実施する。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【荒廃農地等の発生防止・利用促進】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・農地利用の最適化支援	○	○	○	○	○	○	○	○
・農地の適正管理支援	○	○	○	○	○	○	○	
【森林資源の適切な保全管理】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・森林の計画的な保全管理	○	○	○	○		○		
・森林整備事業等の森林所有者への普及啓発	○	○	○	○		○		
【農山村地域における防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・農山村地域における防災対策　※再掲	○	○	○	○		○		
【農林水産業の生産基盤の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・農業・水産施設の老朽化対策　※再掲	○	○	○		○			○

リスクシナリオ

6－4　風評被害等による地域経済等への甚大な影響

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

風評被害等による地域経済等への甚大な影響の発生を防ぐため、平時より県産品に関する正確な情報を発信する体制の整備や、物流関係者との信頼関係の構築等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【風評被害の発生防止】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・正確な情報発信による風評被害の防止	○	○	○	○	○	○	○	○
・物流関係者との信頼関係の構築	○	○	○	○	○	○	○	○
【風評被害の軽減対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・風評被害の軽減対策	○	○	○	○	○	○	○	○

事前に備えるべき目標　6　　重大な二次災害を発生させないこと
　　リスクシナリオ　6－3　農地・森林等の荒廃等による被害の拡大
　　リスクシナリオ　6－4　風評被害等による地域経済等への甚大な影響
事前に備えるべき目標　7　　地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること
　　リスクシナリオ　7－1　大量に発生する廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態

事前に備えるべき目標

7　地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること

リスクシナリオ

7－1　大量に発生する廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

大量に発生する廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態を防ぐため、市町村における災害廃棄物処理計画の策定を促進するとともに、災害廃棄物等の処理に関する連携体制の強化等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【災害廃棄物の処理体制の構築】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・災害廃棄物処理計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○
・災害廃棄物等の処理に関する連携の強化	○	○	○	○	○	○	○	○
・農林水産業に係る災害廃棄物等の処理に関する連携の強化	○	○	○	○	○	○	○	○
・大気中への有害物質の飛散防止対策　※再掲	○	○	○		○	○	○	○
【廃棄物処理施設被災による長期間の機能停止対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・廃棄物処理連携体制の構築	○	○	○	○	○	○	○	○
【斎場被災による長期間の機能停止対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・火葬施設連携体制の構築	○	○	○		○	○		○

事前に備えるべき目標

7　地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること

リスクシナリオ

7－2　道路啓開等の復旧・復興を担う人材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

道路啓開等の復旧・復興を担う人材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態を防ぐため、受援・連携体制の構築を図るとともに、建設業・農林水産業の担い手の育成・確保や産業を支える人材の育成等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【防災ボランティア受入体制の構築】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・防災ボランティア受入体制の構築	○	○	○	○	○	○	○	○
・防災ボランティアの育成	○	○	○	○	○	○	○	○
【技術職員等の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・復旧作業等に係る技術者等の確保　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・災害応援の受入体制の構築　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【建設業の担い手の育成・確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・建設業の担い手の育成・確保	○	○	○	○	○	○	○	
【農林水産業の担い手の育成・確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・農林水産業の担い手育成・確保	○	○	○	○	○	○	○	○
（農業の担い手育成・確保）	○	○	○	○	○	○	○	○
（林業の担い手育成・確保）	○	○	○	○		○		
【人材育成を通じた産業の体質強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・産業を支える人材の育成	○	○	○	○	○	○	○	○
【キャリア教育等の推進】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・キャリア教育等の推進	○	○	○	○			○	
【防災人材育成】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・災害医療･救急救護･福祉支援に携わる人材の育成　※再掲	○	○			○			○
・自主防災組織の設立・活性化支援　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・消防力の強化　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・消防団の充実　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・被害認定調査等の体制確保	○	○	○	○	○	○	○	○

事前に備えるべき目標

7　地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること

リスクシナリオ

7－3　地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態を防ぐため、応急仮設住宅を迅速に供給する体制を確保するとともに、地域コミュニティ・農山漁村の活性化や地域を支えるリーダーの育成等を図る。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【応急仮設住宅の確保等】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・応急仮設住宅の迅速な供給	○	○	○	／	○	○	○	／
【地域コミュニティの強化】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・地域防災力の向上	○	○	○	○	○	○	○	○
・地域コミュニティの維持・活性化	○	○	○	○	○	○	○	○
・農山漁村の活性化	○	○	○	○	○	○	○	／
・地域コミュニティの担い手育成	○	○	○	／	○	○	○	○
・地域を支えるリーダーの育成	○	○	○	／	○	○	○	○
・消防団の充実　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○

リスクシナリオ

7－4　鉄道・幹線道路等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要

鉄道・幹線道路等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態を防ぐため、鉄道の運行確保や代替交通・輸送手段の確保を図るとともに、道路施設の防災対策や高規格幹線道路等の整備を推進する。

対応方策一覧　　弘前（市）、黒石（市）、平川（市）、西目屋（村）、藤崎（町）、大鰐（町）、田舎館（村）、板柳（町）

【鉄道の運行確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・鉄道事業者との連携による早期復旧	○	○	○	／	○	○	○	○
【道路施設の防災対策】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○	／	○	○	○	／
・緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・市町村管理農道・林道の機能保全・老朽化対策　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・道路における障害物の除去　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
【基幹的道路交通ネットワークの形成】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・基幹的道路交通ネットワークの形成　※再掲	○	○	○	／	○	／	○	○
【代替交通・輸送手段の確保】	弘前	黒石	平川	西目屋	藤崎	大鰐	田舎館	板柳
・代替交通手段の確保　※再掲	○	○	○	／	○	○	○	○
・代替輸送手段の確保　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○
・輸送ルートの代替性の確保　※再掲	○	○	○	○	○	○	○	○